

## 会 議 録

年 月 日	平成30年2月19日（月）		
開会時刻	午後2時00分	閉会時刻	午後3時40分
開催場所	条里南庁舎 会議室		
出席委員	二階堂 衛、加賀谷 長吉、今仲 和代、佐々木 雅子		
出席者	教育長 伊藤 孝俊 教育総務部長 見田 貞一郎 教育指導部長 高橋 玲子 教育総務課課長 高橋 純 文化財保護課課長 高橋 輝幸 図書館課長 内藤 郁子 教育指導課長 江畑 譲 学校教育課長 木村 雅美 学校教育課政策監 遠藤 美紀子 学校給食課長 富山 直美 （まちづくり推進部） 生涯学習課課長 佐々木 賢祐 スポーツ振興課課長 渡邊 一		
会議書記	教育総務課係長 大塚 昭生 教育総務課主査 高橋 慎		

### 付議案件

- 議案第1号 平成30年度教育行政方針について
- 議案第2号 平成29年度横手市一般会計補正予算（第12号）に関する意見の申出について
- 議案第3号 平成30年度横手市一般会計予算に関する意見の申出について

### 議決事項

- 議案第1号 平成30年度教育行政方針について
- 議案第2号 平成29年度横手市一般会計補正予算（第12号）に関する意見の申出について
- 議案第3号 平成30年度横手市一般会計予算に関する意見の申出について

## 《会議要旨》

伊藤教育長

それでは、只今より平成30年1月定例教育委員会を開催いたします。会議録署名委員は、1番二階堂委員、4番佐々木委員にお願いいたします。参加はお集まりの部長、次長、課長、書記は教育総務課担当にお願いします。

それでは、3の教育長報告に入ります。

資料の表紙をめくっていただきたいと思いますが、まず、一番大きなところだと、1月24日臨時議会がございました。予算についても議題がありました。もう1ページめくっていただきます。

1月22日から2月18日までの主な参加行事についてご報告申し上げます。

1月22日、政策会議、定例教育委員会、その後総合教育会議ということで、市長と教育委員の皆様にはご足労をおかけいたしました。ありがとうございました。

また、同日と次の23日の両日にわたって、30年度の当初予算の市長査定に参加しております。

同日23日ですが、併せて、昇任昇格試験の判定会議がございました。

1月25日、市長査定の総括ということで、市長査定の最終のところまで決定をしたということでもあります。これにもとづいて3月の議会に調定されることになろうかと思っております。

ねんりんピックの横手市実行委員会が開かれまして、これをもって、ねんりんピック関係の事業が全て終了ということになりました。夜は、青年会議所の新春祝賀会に参加を致しました。

1月26日は、定例記者会見、夜は、横手芸術文化団体連盟の新春祝賀会ということでもあります。

1月29日は政策会議、

2月1日は、新聞コンクールとレシピコンテストの表彰式が本会場で行われました。新聞コンクールは第1回目ということでありまして、親子で新聞記事について感想を述べたものをコンクールに出していただいたということでもあります。

伊藤教育長

2月3日、入学おめでとう大会がございまして、4月に新入生になる子どもたちが多数見えたというところでありませす。

2月5日、政策会議、

2月6日は小学校の外国語活動の研修会がございました。来年から、2年ほど移行期間ということで行っていたといひますが、小学校3年生まで外国語活動があるということで、研修会を開いて共通理解を図りました。

2月8日、施政方針と教育行政方針の検討会ということで、政策会議が行われました。

2月9日は人事異動協議、これは市の協議であります。同じく、教頭会が今回ございまして、全体研修会、夜も懇親会に参加を致しました。

2月11日、横手市スポーツ少年団指導者保護者研修会がございまして、午前中参加致しました。指導部長も、指導課長も参加していただいたわけですが、初めて開きました。

これは、スポーツ少年団そのものが、時間的なもの、回数的なものについて、少年団によって随分内容が違ふということ、場合によっては中学校よりも遅くまで練習があるということを含めて、スポーツ少年団は体育協会が担っているという状況がございまして、学校との連携という面では、遅れをとっていた部分があるんだという反省がございまして、校長会等からも指摘をいただいております。

そこで、スポ少の団長さんをはじめとする役員の方々と、小学校の小体連を中心にした校長先生方と教育委員会と体育協会の4者で、こういった研修会を開けないかという申し合わせをして実現したものであります。

いずれ大人にとっては、スポ少も学校も同じ活動の範ちゅうになるということで、できるだけ子どもたちにとって過重負担にならないような配慮をしながら、しかし文武両道でがんばってもらえる体制を大人側で考えなければいけないだろうということで、1回目の研修会を開いて、この後も、そんな連携を続けて参りたいということでありませす。

2月13日は政策会議、

2月14日・15日については校長面談ということでありますが、校長の評価についての面談でございませす。この1年間を振り返って、校長のお話を聞きながら、市教委としてお願いすべきはお願いするといふ面談でございませす。

伊藤教育長

2月15日、人事異動協議がございました。

2月16日は校長会定例会がございまして、夜は送別会ということで、5名の校長先生の退職が今年ありますので、その先生方の送別会をしたということです。

2月18日、横手市スポーツ賞表彰授与式がございまして、併せて、祝賀会ということで、体育協会・スポーツ振興課等々の会にお世話になりながら、今年もたくさんの小中学生の受賞がございました。喜ばしいことでありましたので、祝賀会でもお礼を申し上げたわけであります。

以上、参加行事等についてでございましたが、何かご質問等ありましたらお願いいたします。

—なし—

伊藤教育長

それでは、ないようですので、4の議事に入ります。  
日程第1 議案第1号 平成30年度教育行政方針についてを議題とします。説明をお願いします。

教育総務課長

—資料に基づき説明する—

伊藤教育長

ありがとうございました。1番の教育委員会にかけて、その部分について訂正し、市の政策会議において話し合っていたいただいたものをもとに作り上げたものでございますが、良い機会ですのでまだ議会でお話していませんので、問題点等訂正できるものは訂正しますので何かありましたらお願いいたします。

二階堂委員

前回お伝えした部分が訂正になっていますが、スポ振さん何かございますか。

伊藤教育長

スポーツ振興課と生涯学習課に来ていただいておりますのでお話ししますが、諸課の都合上差し障りのないレベルで記述されています。場合によっては、基本的にはスポーツ振興課と生涯学習課で街づくりのほうでお答えいただくことは大丈夫ですか。そのあたりを部長のほうによろしくお伝え下さい。

それでは、まとめていただいた教育行政方針に従って、議会での説明をしたいと思っております。ありがとうございました。

では、日程第2 議案第2号 平成29年度横手市一般会計補正予算(第12号)の意見の申出についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

教育総務課長 一資料に基づき説明する一

教育総務課主査 一資料に基づき説明する一

伊藤教育長 只今の説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。

佐々木委員 5ページの、事業番号4番 奨学資金貸付事業ですが、補正前の予算に対しまして減額が大きいので、制度上の問題もあると思いますが、詳しく内容を教えて下さい。

学校教育課長 奨学金につきましては、返済していただける予定額を編み出して予算設定させていただいております。当初予算設定では30年度分の貸付ということで予算設定しておりましたが、今年度奨学金を申し込まれた方は20名、そのうち、奨学生の選考委員会にはかりまして決定された方々は11名ということで奨学金が決定されています。これまで継続して奨学金をお貸ししている方、また新規の11名を含めましての奨学金の貸付金額となりまして最終的にはこのような減額補正となっています。

佐々木委員 ありがとうございます。

伊藤教育長 ほかにございませんか。

佐々木委員 事業番号7番の、小学校の電力供給業者の切り替えとありますが、電力会社をどこからどこに変えたのでしょうか。

教育総務課主査 東北電力から荏原環境プラントに昨年9月から変更しました。コスト的には、生活環境課から紹介を受けて切り替えに至ったんですけども、試算的には、基本料金部分で年間6,5%減額が見込めるとということで学校トータルで500万円ほどの減額が見込めるという試算のもとに切り替えをしました。13か月分というのは、請求月が東北電力は異な

ってしまして、荏原環境プラントが当月分請求するタイミングになったものですから、1か月分予算上不足してしまったために補正を行いました。

佐々木委員 わかりました。6, 5%というのは小さいかもしれませんが全体で見ると大きな数字だと思います。これからもそれを増やす予定ですか。

教育総務課主査 全校分を切り替え済みです。深夜電力は切り替えてもコストが下がらないので、東北電力ですけれども、上の部分は切り替えました。

佐々木委員 わかりました。ありがとうございました。

伊藤教育長 よろしいですか。ほかにございませんか。

—なし—

伊藤教育長 ないようですので、日程第2 議案第2号についてご承認いただけますでしょうか。

—異議なし—

伊藤教育長 ご異議ないようですので、日程第2 議案第2号について承認とさせていただきます。

続きまして、日程第3 議案第3号 平成30年度横手市一般会計予算に関する意見の申出についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

教育総務課長 —資料に基づき説明する—

教育総務課主査 —資料に基づき説明する—

伊藤教育長 ありがとうございました。何か質問はございませんか。

二階堂委員 2つほどお伺いしたいと思います。106番の、平鹿中学校の対策事業ですが、事業名称はこの通りで、事業概要は大規模改修という名前になっていますが、具体的にどのような

工事が計画されているかということ、17ページ最後の、すこやか子育て支援事業ですが、補正では番号はふられておらず枠内におさまっていますが、枠外にありますし、概要説明がありませんがどのように理解したらよろしいですか。

伊藤教育長 2つについて説明をお願いします。

教育総務課長 平鹿中学校の大規模改修工事ですが、学校からの要望をもとに優先順位で改修を進めておりますが、予算の枠内で追いつかない場合は大規模の改修に従って改修を進めております。長寿命化改修工事事業、大規模改修事業というのは、一般的にもそのような表記の仕方があると思います。これは補助金の名称であります。長寿命化改修工事事業の場合は、築40年を経過した施設が対象になります。これはかなり条件の良い改修工事ができます。これより1つランクが下がりますが、平鹿中学校は大規模改修に該当しますのでこのように明記しました。

内容につきましては、現在痛みの目立つ部分を中心に大規模改修を進めていくということになります。市の名称としては長寿命化という表現を使っております。文部科学省の補助金の制度としては、長寿命化改修工事事業・大規模改修工事事業というような表現を使っています。40年を経過したものは長寿命化というような補助金の名称です。

すこやか子育て事業は、今手元に資料がないので確認してお答えします。

伊藤教育長 ほかにございませんか。

今仲委員 事業番号64番の、朝倉小学校と十文字第一小学校の煙突内部のアスベストですが、ほかにもそのような学校はあるのでしょうか。

教育総務課長 アスベストに関しては、壁等に吹き付ける形のアスベストは現在どの学校にもありません。法律が変わり、煙突などの中の断熱材に含まれるアスベストの調査をし、含まれる可能性のあるものは調査を行い報告することになりました。

調査の結果、この2つの学校については飛散の恐れがあるというカテゴリーに入りました。それ以外にも煙突に使われ

ている学校はありますが、それぞれの学校は飛散の恐れはなしという判断です。従ってこの2つの学校は恐れがあるということですので、年に一度、稼働前に飛散の有無を業者に調べてもらっています。今後いつ飛散するかわかりませんので、この2校に関しては早い段階で対策をとるということになりました。

伊藤教育長            よろしいですか。ほかにございませんか。

加賀谷委員            89番、118番に記載されている震災前の就学支援ですが、これは小中どれくらいの人数が対象になっていますか。

学校教育課長        東日本大震災の被災者の方への就学援助ですが、現在小学生が2名いらっしゃいます。30年度の予算措置をさせていただいている分については、1軒のお宅ですけれども、小学校にもう一人入学し、上のお子さんが中学校に上がりますので、30年度は中学生が1名、小学生が2名になります。

伊藤教育長            よろしいですか。ほかにございませんか。

佐々木委員            事業番号87番、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者への援助とありますが、具体的にどのような援助なのでしょう。

学校教育課長        特別支援学級に在籍されている子どもさんの保護者への援助ということですが、学校の給食費ですとか、通学費、職場実習の交通費、交流学习の交通費、修学旅行費など、就学援助の項目とほぼ同じような状況です。現在小学校の認定者は88名の予定で、中学校は40名ほどを想定しての予算措置です。

伊藤教育長            よろしいですか。

佐々木委員            要保護と準要保護の家庭への援助はどのように違うのでしょうか。

学校教育課長        特別支援教育の就学奨励費につきましては、特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、就学費用の負担軽減のため



に奨励費として支給しているものです。この支給につきましては、保護者の所得の状況に応じて3段階に分かれておりまして、所得に応じた支給額となっています。

佐々木委員        それでは、重複するというのではなく、それぞれの基準でということなんですね。ありがとうございました。

伊藤教育長        ほかにございませんか。ないようですので、私が聞きたいのは、AEDのリースがゼロになっていますが、これは終了ということですか。

教育総務課主査    所管が消防本部に移って、こちらのほうでリースをしていただきます。

伊藤教育長        ということはリースの形態は変わらないということですね。予算の行先が消防本部になるんですね。わかりました。すこやか子育て支援事業について説明をお願いします。

教育総務課主査    平成27年度から子ども子育て支援法が施行されまして、幼稚園児が1号認定児童という部分につきましては、昔は教育委員会の所管だったということで、予算上は10管に属していたものです。

伊藤教育長        区別がなくなったということですね。ひとまとめにしたというわけですね。

教育総務課主査    はい。

伊藤教育長        それでは、議案第1号から議案第3号までご承認いただけますでしょうか。

—異議なし—

《 議事終了 》

—各課長から事業報告等あり—

伊藤教育長

これもちまして平成30年2月の定例教育委員会を終了いたします。